

令和4年度 里見公民館賞

地域のために貢献された3氏が受賞

昨年、一昨年とコロナ感染症拡大防止の観点から中止していた里見公民館賞贈呈式が、感染予防対策を講じつつ、3年ぶりに挙行されました。

公民館賞は、里見公民館賞表彰規定により各集落からの推薦をもとに、集落公民館長会議と交流センター運営協議会役員会での承認を経て、決定されました。

11月23日の贈呈式では、地域の皆さんが多数列席の中、受賞者3氏の功績を讃え表彰状が贈られました。



加賀屋 順吉氏
 (東里4)

東里営農組合の発足や農事組合法人里見の立ち上げに携わり、その代表理事を務めるなど大きな功績を残している。雄物川シルバー人材センターの初代会長、雄物川地域づくり協議会委員、里見地区交流センター運営協議会委員、東里いきいきサロン世話人、東里地区共助の会役員など、地域づくりのあらゆる場面で活躍し、地域活性化に貢献している。



佐藤 榮太郎氏
 (東槻)

長年にわたり老人クラブの会長として、会員の増員を図り、強い絆づくりによる活発な活動推進に尽力し、老人クラブを地域活動の柱を担う組織にまで育成した。また、豊富な経験・知識・実績により集落内での信頼も厚く、地域行事においてはよき相談役として頼られる存在であり、地域づくりに大きく貢献している。



川越 幹雄氏
 (桑ノ木)

長年にわたり公民館運営委員として地域の公民館活動に携わり、桑ノ木交流館建設にあたっては建設委員会の副会長として尽力し、交流館運営委員会副委員長、さらには委員長を務め、地域づくり活動に大きく貢献した。土地改良区、消防団の活動にも長年携わり、地域の発展と地域住民の安全確保に大きく寄与した。

講演会『雄勝城に浪漫を求めて4』開催

雄勝城は本当に造山にあった！可能性がさらに高まりました～♪

8世紀に造られた城柵、雄勝城の発見を目指し、民間団体「雄勝城・^{まよぎ}駅家研究会（代表：高橋学氏）による発掘調査が9月中旬から10月末に、払田柵跡調査事務所による調査が11月上旬に、いずれも雄物川高校近くで行われ、これらの調査報告を兼ねた講演会を、高橋学氏と払田柵跡調査事務所・谷地薫氏を講師に迎え、12月4日に開催しました。

今年度の調査では、秋田県内では初めてとされる奈良時代の**大溝跡**（城柵の外側の囲い、あるいは城内を区画する施設の一部であることが推測される）が発見されるなど、大きな成果がありました。また複数地点で発見された溝・大溝跡の配置からは十足馬場地内の道路や水田等の地割りが奈良時代に成立し、現在まで継続して維持されていると判断できるとのこと。さらに大溝跡北側から多くの竪穴建物跡が確認されていることも「雄勝城造山説」の大きな裏付けになるようです。来年度の調査がまた一段と楽しみになってきました。



高橋 学氏



谷地 薫氏



調査に協力している『造山の歴史を語る会』会長：青木 久さんの挨拶



食生活改善推進員による 伝達講習会開催



12月6日、横手市食生活改善推進協議会・雄物川支部推進員による伝達講習会を開催しました。血圧を上げない副菜のとり方などに関する栄養士の講話の後、里見地区推進員の指導のもと、料理講習を行いました。今回のメニューは『あっさり麻婆豆腐』と『大根とツナの簡単サラダ』でした。減塩だけど薄味すぎずおいしい、しかも手軽で簡単と大変好評でした。



記念すべき10回目のスポフェス！

里見地区 第10回 スポーツフェスティバル

スマイルボウリング大会

開催予定 ※新型コロナ感染状況により中止となることもあります。

日時 令和5年**1月21日(土)**
9:15～開会式 9:30～競技開始～お昼頃まで終了

会場 福地地区交流センター 体育館

参加費 1人 100円

※詳細は後日配布ちらしでお知らせします。

つぶやき (編集後記)

サッカーワールドカップに一喜一憂しているうちに2022年もあと半月。今年もセンター事業にご協力いただきありがとうございました。来る年もまた、どうぞよろしく願いいたします。

2023年はピョンピョンうさぎ年で～す